

お知らせ

市民の声を大切に、いのちとくらしをまもり、子どもたちの未来に、かがやくヒロシマを！

刊行にあたって

第10次広島市政白書は、松井自民党市政を総括しつつ、市民が主人公の広島市政を展望するものにし、うと、政策提言型の市政白書づくりにとりました。

広島市は、住民の声が届かない冷たい行政になっていくという意見も多くあがりました。そして8月20日未明に起こった、安佐南区緑井、八木地区、安佐北区三入地区等での豪雨土砂災害は、こうした地域の声が届かない結果、未曾有の被害をもたらした悲惨な結末なのではないか、ということが指摘されました。

白書が、憲法を生かし、地方自治がこの立場で生かされること、また、広島が人類史上初めて核兵器の惨禍を浴びた「ヒロシマ」として平和を全世界に発信することを期待します。

広島市民としての安心・安全な「ひろしま」を目指して、一人でも多くの方とつながることを願いながら、この市政白書を活用することができます。

広島市政白書作成実行委員会  
委員長 金子 秀典

「第10次広島市政白書2014」-広島市民・職員の目線から見た市政-

松井一寛広島市長の  
市民に冷たい政治姿勢を問う！

第10次広島市政白書2014

いのちとくらし

かがやくヒロシマ



— 内容紹介 —

はじめに

第一部 総論

「松井市政をどう見るか」懇談会

第二部 地域住民懇談会

I. 地域住民懇談会のまとめ

II. 地域の特徴と課題

第三部 各論

I. 子ども子育て

はじめに

1 保育制度の大転換で、子ども達の未来は明るいのか？

2 障害児支援 3 保育所

4 学童保育 5 児童館

II. 教育

III. 福祉・医療・介護

はじめに

1 生活保護

2 国の介護保険改革に追随

3 障害者施策 4 国民健康保険制度の崩壊

5 市立4病院における独立行政法人化後の課題

6 福祉医療費公費負担制度

IV. 街づくり・環境

はじめに

1 広島高速5号線二葉山トンネル

2 山陽本線高架計画の早期実施を

3 8.20広島市豪雨土砂災害

4 ハコモノ白書

5 広島の地域公共交通問題と地域活性化問題

V. 文化・社会教育

はじめに

1 公民館

2 広島市立図書館における現状と課題

3 動物・植物公園、昆虫館

4 広島市に多面的な博物館を

VI. 中小企業・商店会

はじめに

1 平和行政

2 広島市の平和行政と平和教育

3 ヒロシマ平和ノートについて

4 被爆体験集「木の葉のように燃がれて」を発行し続けて

5 「黒い雨」被害者の要求と市の対応

VIII. 広島市政から見た広島市政

IX. 民主区政の課題

1 広島市市区行政の実態と今後のあり方

2 広島市の区役所と住民自治

編集：広島自治体問題研究所  
発行：自治労連広島市職員労働組合

申し込み先 広島自治体問題研究所 広島市中区大手町5-16-18パールビル3F  
TEL (082)241-1713 FAX (082)298-2304 Email hjitiken@urban.ne.jp

価 値 1,000円  
送料100円